

BITLead オンライン特集

ネットバンキング、キャッシュレス、仮想通貨まで
今求められる金融のDXとセキュリティ対策

金融業界向け セキュリティ特集



2023年7月下旬公開予定

ネットバンキング、キャッシュレス、仮想通貨まで 今求められる金融のDXとセキュリティ対策

緊迫する世界情勢と経済環境、急激なデジタルシフトから、国内外の重要インフラに対するサイバー攻撃の潜在的なリスクが高まっています。金融機関ではキャッシュレス決済やネットバンキングを狙った攻撃、利用者をターゲットにしたフィッシングやマルウェアなどが後を絶ちません。また国際情勢による組織化されたサイバー攻撃や国際的なハッカー集団によるランサムウェア被害など、重要インフラへの攻撃に対して業種ごとの設備インフラ・サービス特化したセキュリティ対策やリスク管理が求められています。本企画では金融のセキュリティの専門家や企業の担当者を招き、業種毎のセキュリティリスクと対策を事例を交えて考察します。

金融分野におけるセキュリティ対策

攻撃者の動機	対象	脅威	関連する既存のリスク管理態勢
社会秩序の混乱	金融機関	金融機関・金融市場インフラの機能停止	金融機関が直接サイバー空間から攻撃されるもの 業務継続 (BCM) 等 人的(故意・過失を問わない内部者)に、システムがマルウェアに感染させられ、機能停止に陥るもの
		機密漏洩	金融機関が直接サイバー空間から攻撃されるもの 情報セキュリティ管理 等 人的(故意・過失を問わない内部者)に、システムがマルウェアに感染させられ、サイバー空間から機密漏洩
経済目的	顧客	不正送金等の不正取引	金融機関のコンピュータがマルウェア(注)に感染して不正送金等の不正な取引がなされるもの 顧客保護 等 顧客のコンピュータがマルウェアに感染して、顧客の意志に反した指示が金融機関になされるものや、フィッシング詐欺等

(注)マルウェアとは、悪意のあるソフトウェアの総称。コンピュータに感染し、不正送金や情報窃取などの遠隔操作を自動的に実行するプログラム。

金融におけるセキュリティ対策ポイントをわかりやすく解説



企画ターゲット・対象製品サービス

【リードターゲット】

金融業 経営層、経営企画 CSO、CISO、情報セキュリティ管理責任者 セキュリティ担当者、金融業 情報システム部、CSIRT、セキュリティ担当など フィンテック サービス開発部門、インフラ部門、セキュリティエンジニア、



【対象プロダクト・サービス】

標的型攻撃対策、ランサムウェア対策、DDoS攻撃対策、不正検知、フォレンジック、データバックアップ、CSIRT構築ソリューション、インシデントレスポンス代行サービス、各種標的型攻撃対策、個人情報保護法対策ソリューション、情報漏洩対策ソリューション、ランサムウェア対策、制御システムセキュリティ、IoTセキュリティ、サイバーセキュリティ対策、クラウドセキュリティ、フィッシング対策、メールセキュリティ



オンライン特集の特徴

①単価を押さえて、大規模なリード収集

通常のオンラインリードメニューよりも低コストで大量のリードを獲得可能。



②テーマに即した特集コンテンツを用意

テーマに即したエバンジェリストや専門家・ユーザーに取材、記事化することで、該当テーマに興味関心を持つユーザーのリードが獲得可能です。



③スポンサーのソリューションを訴求する 独自記事コンテンツでリードを取得

スポンサーのソリューションを訴求するための独自記事コンテンツを作成。御社ソリューションに興味関心のある方のリードを集中的に取得します。



オンライン特集の概要

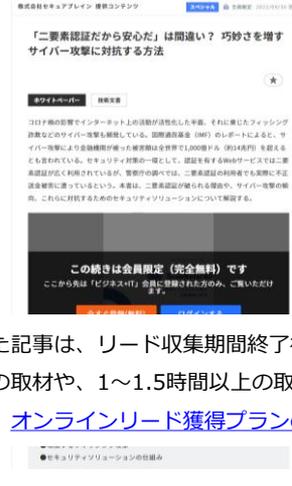
共用コンテンツ

- ・テーマに即した特集記事を掲載
- ・個人情報提供に同意した閲覧者リードを全スポンサーに提供
- ・閲覧時のアンケートは、規定の設問1問のみ（カスタマイズ不可）
- ・個別コンテンツでは獲得しにくいターゲットにも幅広くリーチ



個別コンテンツ

- ・取材を経て、編集部が各スポンサーのタイアップ記事を制作。
- ・ホワイトペーパーをご支給いただき、関連資料として掲載
- ・閲覧者リードは、そのスポンサーのみに提供
- ・閲覧時のアンケートは、最大2問 設定可能
- ・貴社ソリューションに関心の高いリードを獲得



※作成した記事は、リード収集期間終了後、二次利用が可能です。
※遠方への取材や、1~1.5時間以上の取材は別途費用がかかります。
詳しくは、[オンラインリード獲得プランのご説明](#)をご確認ください。

- ※獲得リード情報には、名刺情報（氏名/勤務先/部署/役職/勤務先住所/TEL/メールアドレス）と、アンケート回答、コンテンツ閲覧履歴が含まれます。
- ※共用リードと、個別リードは、別リストとしてリードダウンロードセンター経由でご提供され、掲載後、リアルタイムに確認・ダウンロードが可能です。
- ※共用リードと、個別リードの獲得比率は、通常7：3程度ですが、変動する場合がございます（若干の重複を含む）。
- ※共用コンテンツの掲載内容については事前の確認/校正はできません。講師の都合により掲載開始は変動します。個別コンテンツと公開タイミングが異なる場合もございます。
- ※当企画後半の「オンライン特集 補足事項」もご確認ください。

前回実施実績

共用コンテンツ

LINE Pay 執行役員 CISO
IT統制本部長 笹川豪介氏

<https://www.sbbjt.jp/fj/article/sp/97125>

LINE Pay CISOに聞く、デジタル時代の
金融に求められる新セキュリティ戦略



フィンテック関連のセキュリティ要件の共通点

金融は「フィンテック関連のセキュリティ要件の共通点」が、企業セキュリティ戦略の基盤となる。また、この共通点は、デジタル時代の金融に求められるセキュリティ戦略の基盤となる。また、この共通点は、デジタル時代の金融に求められるセキュリティ戦略の基盤となる。

また、企業セキュリティを評価する評価基準が異なることも、そうした企業間の差を生み出す。評価基準が異なることは、企業間の競争優位性を左右する。また、この共通点は、デジタル時代の金融に求められるセキュリティ戦略の基盤となる。

個別コンテンツ

株式会社電通国際情報サー
ビス 提供コンテンツ

<https://www.sbbjt.jp/fj/article/sp/95768>

対サイバー攻撃「最後の砦」、社員のセ
キュリティ意識をうまく強化する方法



高まるサイバー脅威とセキュリティ教育の実施

世界的な傾向として、サイバー攻撃による被害は増大している。サイバー攻撃の手段はますます高度化・複雑化しており、もはや従来のセキュリティ製品では防ぎきれないケースも増えてきた。中でも多発しているのが「人」をターゲットにしたサイバー攻撃。つまり人間の誤りや脆弱性、不正を突いて情報を盗み取らうとするソーシャルエンジニアリングによる攻撃である。

たとえば、新型コロナウイルスの感染拡大により、リモート環境で働く従業員に対してコロナ関連の情報を装った詐欺メールなどを送り付けるケースが増えている。在宅勤務時はサイバー攻撃に対する脆弱性が顕在化しており、同時にこうした脆弱性を、不審なメールや詐欺メールを届けてしまうリスクも高まっている。特に金融機関へのサイバー攻撃はコロナ感染拡大以降に比べて増加しており、情報管理課長(以下「IPM」)も注意を促している。

こうした攻撃への対応には、従業員それぞれのセキュリティ意識(セキュリティウェア)を高めることが重要である。もっとも、従業員からパスワードポイントにまとめた資料を配布したり、集合研修を実施したり、定期的なセキュリティ研修メールを従業員に配信している企業は少なくないだろう。

しかし、これらの取り組みから、従業員がセキュリティウェアが実際にどの程度向上しているかを定量的に把握することは難しい。実際には向上しているとは見えても、十分に浸透できていないだろうか。十分に浸透できていない場合は、どのように浸透を促進し、向上に貢献させるべきだろうか？

株式会社セキュアブレイン
提供コンテンツ

<https://www.sbbjt.jp/fj/article/sp/97125>

二要素認証も楽々突破…巧妙化する「不正
ログイン」に企業は何をすべきか？



ワンタイムパスワードも安心できない？「被害者の5割以上が利用」の実態

なりすましによる不正アクセスの対策として、ログイン時に二要素認証によるワンタイムパスワード(OTP)や生体認証を設けたeKYC(オンライン本人確認システム)を導入しているサービスは多い。しかし、昨今のサイバー犯罪は、これだけでは十分に防げない。

それを実行するのが、2019年、有効であったはずの二要素認証を突破する被害が多発したという事実だ。被害者の調べでも、不正送金被害者の半分以上が二要素認証を利用していた。この手口は偽のログイン画面を用意し、そこからフィッシングサイトに誘導する。そしてパスワードに加えて、OTPも一緒に入力できるように促し、そのOTPを盗ん

獲得企業例 (一部抜粋)

勤務先名	部署名
(株)みずほ銀行	リテールデジタル業務部
(株)みずほフィナンシャルグループ	IT・システムグループ
第一生命保険(株)	内部監査部
(株)三井住友銀行	システムセキュリティ統括部
明治安田生命保険	沼津支社
三菱UFJ信託銀行(株)	資産形成推進部
三菱UFJモルガンスタンレー証券(株)	金融犯罪対策部
みずほ証券(株)	投資銀行部門
大同生命保険(株)	内部監査部
SBIホールディングス(株)	IT統括部長
(株)京都銀行	監査部
(株)東京スター銀行	個人企画部
(株)ジェーシービー	インフラ開発部
金融庁	総合政策局リスク分析総括課
(株)イオン銀行	監査部
PayPay(株)	金融戦略部
楽天銀行(株)	システム管理部
SOMPOひまわり生命保険(株)	情報システム部
太陽生命保険(株)	IT企画部
イオンフィナンシャルサービス(株)	システム管理部
三菱UFJ信託銀行(株)	資産形成推進部
イオンクレジットサービス(株)	法人営業課
KDDI(株)	システムセキュリティ部
メットライフ生命保険(株)	IT
(株)伊予銀行	リスク統括部
(株)あおぞら銀行	インフラストラクチャーマネジメント部
三菱UFJモルガンスタンレー証券(株)	金融犯罪対策部
auじぶん銀行(株)	IT基盤開発部
楽天証券(株)	IT・カスタマーサービス担当・オペレーション本部管掌

料金・スケジュール

スポンサー プラン	オンライン特集			企画料金 (税別)
	共用 コンテンツ	個別 コンテンツ	「金融/保険/証券」 または「金融業界関係者」の コンテンツ閲覧リード	
特集プラチナ	共用記事	取材記事 /ホワイトペー パー3点	75件属性保証	150万円
特集ゴールド	共用記事 /動画	取材記事/ホワイ トペーパー3点	45件属性保証	100万円
特集ブロンズ	共用記事 /動画	—	30件属性保証	80万円

スケジュール	
一次締切日	23年6月16日(金)
共用コンテンツの掲載	7月下旬掲載予定
個別 取材記事の掲載	要望シート入稿から6週間前後で掲 載
個別 ホワイトペーパーの掲載	入稿から2~3週間前後で掲載
リード収集期間	想定集客期間：2~3か月
※共用コンテンツと個別コンテンツの公開のタイミングは異なる場合があります。	

協賛最終締切日	23年6月30日(金)
※一次締切を過ぎてから参加の場合、共用リードの獲得が先行して開始されます。	

※ノンセグメントのリード提供をご希望の場合は別途お問い合わせください。

※ご請求はコンテンツ掲載開始月末日付となります。(別途お取引条件がある場合を除く) 収集期間終了後も各コンテンツは掲載され続けます。PVレポートはありません。

※特集ブロンズは、上位プランのお申し込みがない場合、お申込みいただけません。

※個別コンテンツの掲載位置は、スポンサーランク順となります。同ランクの場合は申込順となります。

※BIT主催セミナーとセットになっているオンライン特集においては、セミナーの基調講演/特別講演の内容が、特集記事(共用記事)になります。どの講演の記事が掲載されるかは、決定し次第ご案内が可能ですが、具体的な講演内容/記事内容については、事前に開示することはできません。場合によっては、講演企業が利用しているサービスの中で他社の情報などが含まれる場合がありますが、当該テーマに関心を持つ読者にとって有益な情報として扱われますので、内容について変更のご要望はお受けできません。

※当企画書後半の「リードダウンロードセンター利用規約」「データ利用規約」「キャンセル規定、免責事項」もご確認ください。

個別コンテンツ スケジュール

ホワイトペーパー

掲載するPDFデータ（完成データ）をメールにてお送りください。
おおよそのスケジュール目安は以下の通りです
（★印は広告主様側のタスク）

PDFデータ入稿（各営業日15時まで・それ以降は翌営業日扱い）★
6～7営業日後 掲載ページ初校
7～8営業日後 初校お戻し★
8～9営業日後 念校提出
9～10営業日後 念校お戻し・校了★
11～12営業日後 掲載開始

※繁忙状況や内容によりスケジュールは変動する場合がございます。
※校正は2回までとなります。修正指示は、お送りする校正用WORD
ファイルに直接赤字を入れてお戻しく下さい。後述の通り、ビジネス
+ITが作成したタイトル・リード文に大幅な修正が入る場合・制限が
ある場合は、再見積りが必要となる場合がございます。
※同時に4本以上入稿の場合は、掲載スケジュールを分けてご案内い
たします。

タイアップ記事

ご希望の取材日程の2週間前を目安に取材要望シート(※)をご提出ください。
おおよそのスケジュール目安は以下の通りです（★印は広告主様側のタスク）

取材2週間前 取材日程候補・取材要望シートの提出 ★
取材1週間前 取材項目案の提出
取材2営業日前 取材項目案の承認★
取材当日 1.5時間前後★
取材9営業日後 初校の提出
取材11営業日後 初校お戻し★
取材13営業日後 再校提出
取材14営業日後 再校お戻し★
取材15営業日後 校了
取材17営業日後 掲載開始

※繁忙状況や内容によりスケジュールは変動する場合がございます。
※取材は、オフィス（都内前提）か、弊社スタジオ、オンライン取材のいずれかで実
施。取材時間は1～1.5時間想定です。編集部員、ライター、カメラマン、営業担当が
3～4名で伺います。オンライン取材の場合は、別途、手元音声の録音や、写真素材の
提供 or 別日程での撮影をお願いいたします。
※取材前のブリーフィングは実施しません。訴求したい内容については、事前に取材
要望シートや関連資料を送付することでインプットしてください。また、弊社からの
取材項目案は必ずご確認いただき、必要な調整等を行ったうえで取材2営業日前まで
にご承認ください。
※取材要望シートはこちらからご確認ください。<https://s.sbbit.jp/362XEfO>
※事前にお送りする取材項目案に沿って記事を作成しますので、初稿時に大幅なリラ
イト指示は承れません。修正回数が増える場合は別途費用をいただくか、修正をお断
りする場合がございます。
※校正は2回までとなります。修正指示は、お送りする校正用WORDファイルに直接
赤字を入れてお戻しく下さい。
※オンラインリードで作成する記事は販促物（Web・紙）への二次利用が可能です（
費用含む）。Web利用はリード収集期間終了後でお願いいたします。

補足事項

お見積り補足事項

※掲載時のタイトル・リード文は、ビジネス+ITが独自に作成します。原則として、製品カット/テクノロジーカットではなく、読者のビジネス課題や興味関心に沿うような表現を行います（著名企業の事例ホワイトペーパーなどは、企業名をタイトルに利用する場合もございます）。ビジネス+ITが作成したタイトル・リード文に大幅な修正が必要な場合は、再見積りが必要となることがあります。

※お見積りに記載の期間での保証数達成を想定していますが、万が一期間内に未達の場合は期間を延長して集客します。集客状況によっては、閲覧した読者に抽選で弊社からAmazonギフトを進呈するキャンペーンを実施する場合があります。

※ご請求は一括で、コンテンツ掲載開始月となります（別途お取引条件がある場合を除く）。

※リード収集期間終了後もコンテンツは継続公開されます（別途ご指定がある場合を除く）。ただし獲得リードは提供されません。

※集客誘導メールの配信枠・原稿内容・配信時期は、弊社に一任いただきます。状況により集客枠は随時変動するため、集客計画の事前提示は対応できません。また、終了後のレポートのご提出もございません。

※「LDC利用規約」「データ利用規約」に同意いただく必要がございます。

（リードダウンロードセンター初回アクセス時に画面上で同意ボタンを押下）

※正式なご発注後のキャンセルは、キャンセル規定が適用されます。

リード情報について

※オンライン特集において、提供するリードに含まれる情報は以下のとおりです。

- ・コンテンツ閲覧日時（初回閲覧日時と、最終閲覧日時のみ）
- ・名刺情報（氏名/勤務先/部署/役職/勤務先住所/TEL/メールアドレス）
- ・コンテンツ閲覧履歴
- ・アンケート回答結果（共用記事は媒体が指定の1問。個別コンテンツは2問まで※指定がない場合はデフォルト設問1問）

※名刺情報以外に、BIT会員情報として保有している属性項目（業種/従業員数など）は開示されません（一部、属性保証型の企画を除く）。

※関係者（出稿主企業 ※グループ企業は含まず）や、不誠実なリード、個人、学生などは、一時的にリードに含まれますが、弊社のチェックか、無効リクエストをいただいた場合はリストから消し込み、保証数にカウントされません。フリーアドレスの登録は保証件数に含まれます。

獲得リードにアプローチする際には『ビジネス+ITに掲載された「コンテンツ名・URL」を、規約に同意いただき閲覧した読者の方にご連絡しています』という趣旨をお伝えください。

獲得リードは、「ビジネス+ITリードダウンロードセンター」からご確認・ダウンロードいただけます。リードダウンロードセンターのアカウントは、広告主企業のご担当者様1名のみ発行いたします（グループメール不可）。広告主企業のご担当者様以外にアカウント発行を希望される場合、広告主より「子ID発行申請書」をご提出いただく必要がございます。リードダウンロードセンターの利用方法については別途資料をご用意しております。

※共用リードと、個別リードは、別々のリストとして提供され、若干の重複を含む場合がございます。また共用リードについてはシステムの仕様上、件数報告メール配信がないため、定期的にリードダウンロードセンターにアクセスしご確認をよろしくお願い致します。

リードダウンロードセンター利用規約

ビジネス+IT リードダウンロードセンター利用規約書

「ビジネス+ITリードダウンロードセンター」（以下「LDC」という）は、ご登録いただいたお客様のセミナー・イベントまたは商品・サービスに関する情報（以下総称して「利用コンテンツ」という）の、SBR/エディテイル株式会社（以下「SBCR」という）の運営・提供する情報サイト「ビジネス+IT」（関連サービスを含み、「ビジネス+IT」という）への掲載、メール配信、および当該コンテンツに関し、ビジネス+ITを利用する個人（以下「ビジネス+IT読者」という）が提供するアンケート回答、個人情報その他の各種情報（「読者提供情報」という）を取得することができるサービスです。
LDCのご利用につきましては、以下の「ビジネス+IT リードダウンロードセンター利用規約書」（以下「本規約」という）をお読みの上、ご同意いただく必要がございます。

第1条 規約の範囲および変更

1. 本規約は、SBCRが提供するLDCの利用に関し、LDCの利用登録者（以下「LDC利用者」という）と SBCRとに生ずる権利義務その他LDCの利用条件を規定することを目的とします。またSBCRが別途定める諸規定（規約、運用ルール、禁止事項等、その名称を問わない）は、それぞれ本規約の一部を構成するものとします。
2. LDC利用者は、LDCの利用にあたり、本規約の適用に同意することとし、方が一義的である場合は利用しないこととします。
3. SBCRは、事前に通知することにより本規約を変更できます。本規約を変更する場合は、その変更の概要をビジネス+IT（もしくはその代替となるWebサイトを含む）、以下同様。）上に掲載します。LDC利用者は、規約変更後にLDCを利用することをもって、変更後の本規約に承諾したものとみなされます。

第2条 利用料金

LDCの利用料金は、原則無料です。但し、オプションサービスをご利用の場合は、有償となります。この場合、LDC利用者は、別途SBCRの定める利用料金を、SBCRの定める支払期日、支払方法によりSBCRに支払うものとします。
オプションサービスのお申し込みについては、SBCR所定の窓口へお申し出ください。

第3条 ユーザーID・パスワード

1. LDCへの利用登録（以下「利用登録」という）に際しては、LDC利用者のユーザーIDとして、利用登録を申し込まれた担当者のメールアドレスを利用させていただきます。なおこのメールアドレスは、当該利用登録を申し込まれた会社名（担当者が本人の所属される法人とします）をドメインとしたものとし、また、メールアドレスや読者の利用者が共有するメールアドレスを利用してはならないものとします。
2. LDC利用者は、利用登録のお申し込み後、パスワードが付与されます。LDC利用者は、パスワードを第三者に貸与、譲渡、その他一切利用させてはなりません。
3. LDC利用者は、ユーザーID・パスワードの管理責任を負い、これらを利用して行われた行為は、LDC利用者の過失によるか否かを問わず、すべてLDC利用者の行為とみなされます。SBCRはユーザーID・パスワードの漏洩、不正使用などから生じた損害を補償いたしません。方、一、自分のユーザーID・パスワードが無断で第三者に利用されたと思われる場合、もしくはユーザーID・パスワードを第三者に漏洩した恐れがある場合は、ただちにSBCRへ通知するとともに、LDCの登録内容を修正するなど適切に対応してください。

第4条 ユーザーIDの設定

1. LDC利用者は、LDC利用者によるLDCの利用の便宜を図ることを目的として、LDC利用者のユーザーIDを管理するIDとする子ID（以下「子ID」という）の設定を申請することができます。子IDの設定に際しては、SBCRが別途定める範囲において、LDC利用者の指定する方を設定することができます。
2. LDC利用者は、当該子IDの利用者（以下「子ID利用者」という）に対し本規約における自己と同等の義務を課し、遵守させる義務を負うとともに、子ID利用者によるLDCの利用に際する一切の行為についてSBCRに対し責任を負うものとします。また、子ID利用者の行為によりSBCRに損害を被った場合は、その損害を賠償するものとします。
3. LDC利用者は、LDCの利用に関して、LDC利用者と子ID利用者との間に疑義、紛争等が生じた場合、当該LDC利用者の責任と費用でこれを解決するものとし、SBCRに一切迷惑をかけるまいものとします。

第5条 利用者コンテンツの登録について

1. SBCRはLDC利用者が以下に該当した場合、又はその恐れがある場合には、該当の利用者コンテンツの登録を拒否し、又は、すでに登録されている利用者コンテンツの削除、もしくはLDC利用停止措置（子ID利用者によるLDC利用の停止を含む）を行うことができます。LDC利用者は、SBCRの行う措置に関し、何らの異議もとめないものとします。SBCRは本項に基づく措置によりLDC利用者およびその他の第三者（子ID利用者を含む、以下本契約において同じ）に生じた損害について一切責任を負いません。
(1) 利用登録をした者が実在しない場合
(2) 利用登録内容に虚偽の申告があった場合
(3) 過去に本規約、その他のSBCRの提供する他のサービスの利用規約等に違反したことがあることが判明したとき
(4) 反社会的勢力（暴力団、暴力団員、暴力団準構成員、暴力団関係企業、総会屋、社会運動等標榜口組、特殊犯罪組織集団、およびこれらに準じるもの）であることが判明したとき、または反社会的勢力との関与が明らかになったとき
(5) 法令に違反し、公序良俗に反する行為を行った場合
(6) 利用登録時や利用者コンテンツ登録時に、当該情報の信頼性が低い、または虚偽の事項を登録したとSBCRが判断した場合
(7) 利用登録されたメールアドレス、その他の連絡先での連絡が一定期間以上にならなかつた不慮の状態が続いた場合
(8) LDCの利用が一定期間以上にわたって行われなかった場合
(9) プログラム等の改変、リバースエンジニアリング、解析、ユーティリティの作成・頒布等の行為を行った場合
(10) SPA/ウェア、コンピュータウイルス等の有害なコンピュータプログラムなどを登録した場合
(11) 他のLDC利用者またはビジネス+IT読者のメールアドレスなどの不正利用、譲渡、販売する行為を行った場合
(12) 第2条に基づき料金の支払いを遅延したとき
(13) ビジネス+ITその他SBCRの運営するサービスの提供、運営を妨害する行為を行った場合
(14) その他の本規約に違反し、SBCRが不正催告後も是正が認められないとき
(15) その他SBCRが不適切と認めた行為を行った場合
(16) LDC利用者は、過失により前項各号の行為を行うことのないよう利用者コンテンツをSBCRに提供するに際しては、必ず権利侵害のないこと、コンピュータウイルスなどに感染していないことを確認するものとします。
3. LDC利用者は、SBCRに提供する利用者コンテンツの内容につき、責任を負うものとし、SBCRがビジネス+IT読者をはじめとする第三者から権利侵害を主張された場合には、自己の責任と費用をもって、当該紛争を解決するものとします。但し、当該紛争がSBCRの責めに帰すべき事由に起因する場合はこの限りではありません。

第6条 ビジネス+IT読者の個人情報の取扱いについて

1. LDC利用者は、LDCを利用して取得したビジネス+IT読者の個人情報、ビジネス+IT読者から許諾された使用範囲内に限定して利用するものとします。
2. LDC利用者は、LDCを利用して取得したビジネス+IT読者の個人情報を高度なる管理者の注意義務をもって管理し、前項の利用目的遂行に必要な業務委託を除き、第三者に開示してはならないものとします。
3. LDC利用者は、利用登録時に、自己の所属する法人のプライバシーポリシーのURLをSBCRに通知しなければならないものとします。
4. LDC利用者は、LDCを利用して取得したビジネス+IT読者の個人情報を利用し、SBCRがビジネス+IT読者をはじめとする第三者から権利侵害を主張された場合には、自己の責任と費用をもって、当該紛争を解決するものとします。但し、当該紛争がSBCRの責めに帰すべき事由に起因する場合はこの限りではありません。

第7条 LDC利用者の個人情報の取扱い

1. LDC利用者が、利用登録時にSBCRに提供したLDC利用者の個人情報は、SBCRのデータベース（以下、「データベース」という。）に蓄積されます。LDC利用者は、SBCRがデータベースを本条第3項に定める利用目的の範囲内でSBCRが利用することを承諾します。
2. SBCRは、法令等に基づき開示が要求される場合を除き、LDC利用者の個人情報や本人の承諾なしに第三者に開示、または提供しません。
3. SBCRは、LDC利用者の個人情報、LDC利用登録、認証、本人確認、業務上の連絡、ビジネス+IT読者からの問合せに対する通知その他、これらに関連する業務上の目的に利用します。
4. LDC利用者が利用登録の抹消を希望するときは、SBCR所定の連絡窓口へその申し出を行うものとします。
5. SBCRは、LDC利用者より利用登録抹消の申し出を受理した場合、当該LDC利用者が登録した個人情報やデータベースから削除します。ただし、ビジネス+IT読者からの利用者コンテンツに関する問合せに対応するために必要な情報、および前条に基づきSBCRに利用を許諾された個人情報はその限りではありません。また、バックアップデータには、一定期間、当該LDC利用者に関する個人情報が残存するよう可能性があることを予めご了承くださいます。

第8条 登録の抹消等

1. LDC利用者が第5条第1項各号記載事由の一に該当しているとSBCRが判断した場合は、SBCRは第5条第1項に定める措置のほか、又は当該措置とともに、当該LDC利用者の利用登録の抹消を行う権利を有するものとします。なお、当該利用登録の抹消に際し、SBCRは利用登録者が有するすべての利用登録、および関連する子IDについても利用登録を抹消する権利を有するものとします。 SBCRは本案に基づき行う措置によりLDC利用者その他第三者に生じた損害について一切責任を負いません。
2. SBCRは、本契約又はSBCRが定める諸規定に別途定めがある場合を除き、利用登録の抹消後においては、利用者コンテンツ、読者提供情報を保持する義務を負わないものとします。

第9条 登録情報の確認と更新

1. SBCRは、LDC利用者からの利用登録情報更新の申し出を受理した後、速やかに当該LDC利用者に関する利用登録情報の更新を行います。
2. SBCRは、LDC利用者が利用登録情報の更新を怠ったことで被った不利益については一切責任を負いません。

第10条 登録者の変更

LDC利用者の退職、異動などの事由により利用登録者を変更する必要がある場合は、事前にSBCR所定の連絡窓口その旨の申し出をいただくことが必要です。

第11条 ビジネス+ITの変更や休止

SBCRはLDC利用者へ事前の通知なく、LDCおよびビジネス+ITの内容の全部または一部を変更または提供の中断、停止、休止を行うことがあります。

第12条 SBCRの賠償責任の制限

LDCの利用についてSBCRは、当該利用がLDC利用者の需要に適合するか否か、LDCの提供に不具合やエラーや障害が生じないか否か、LDCを通じて得られる情報等の適法性・正確性・適時性、LDCにおいて提供されるコンテンツやソフトウェアの不具合やバグが修正されるか否か、などについては最大限の努力を怠りません。LDC利用者は、LDC利用者は、LDC利用者自身に発生した誤り、誤解（データの混在、消失、改変などを含みます）等ならびにLDCおよびビジネス+ITに関連して生じたいかなる損害・損失等についても、それら/SBCRの故意または重大過失により生じた場合を除き、SBCRが一切賠償責任を負わないことに同意します。なお、本規約に基づいてSBCRが負う最大責任は当該賠償請求事由が生じた利用者コンテンツに関するLDCの利用料金額を超えないものとします。

第13条 LDC利用者の賠償責任

1. LDC利用者が本規約に違反し、SBCRに対し損害を与えた場合、LDC利用者はSBCRに対し、SBCRが被った損害の一切を賠償する責任を負うものとします。
2. LDC利用者が、LDCの利用によって第三者に対して損害を与えた場合には、当該LDC利用者の責任と費用でこれを解決するものとし、SBCRは何ら責任を負いません。

第14条 譲渡禁止

1. LDC利用者は、本規約に基づき生じた権利義務の全部又は一部を、SBCRの事前の書面承諾なく第三者に譲渡し、もしくは担保に供してはならないものとします。
2. SBCRは、LDC利用者に通知することにより、本規約に基づき生じた権利義務を第三者に譲渡することができます。

第15条 第三者委託に関する保証

LDC利用者が、第三者の委託を受けて個人情報を収集する者である場合、LDC利用者は、当該第三者が本規約を承諾し、遵守することを保証するものとします。

第16条 準拠法、合意管轄

1. 本規約の準拠法は日本法とします。
2. 本規約に関連してSBCRとLDC利用者との間で紛争が生じた場合は、その訴願に応じ、東京簡易裁判所もしくは東京都裁判所を専属的合意管轄裁判所とします。

以上

2015年11月6日改定
2014年8月22日改定
2014年1月22日改定
2013年4月1日制定

データ利用規約

データ利用規約（オンラインリード）

この規約（以下「本規約」という）には、「ビジネス+ITリードダウンロードセンター」（以下「LDC」といいます）にてSBクリエイティブ株式会社（以下「SBCr」といいます）がLDC利用登録者（以下「LDC利用者」といいます）に対して提供する下記1. 記載のデータ（以下「本データ」といいます）に関する利用条件が定められております。データの取得及び利用に際しては、本規約の全文をお読みいただいたうえで、本規約に同意いただく必要があります。

1. 本データの詳細

SBCrのWebサイト「ビジネス+IT」上に掲載されたコンテンツ（「最初に公開したコンテンツURL」およびそれに関連する後日公開予定のコンテンツ）の閲覧に際し、以下の事項に同意した「ビジネス+ITプレミアム会員」の個人情報です。

<規約同意事項>

- ・規約に同意して閲覧するボタンをクリックすると、お客様の個人情報は、SBクリエイティブ株式会社から以下の提供先に提供されます。なお、提供される個人情報には、アンケートに入力いただいた内容、コンテンツの閲覧有無や閲覧時刻等の情報が含まれる場合があります。
- ・お客様の個人情報は、以下の提供先がお客様とのコンタクトおよび情報提供（Eメール、ダイレクトメール、FAX、電話によるご案内）、ならびに各社のプライバシーポリシー等に定める利用目的のために利用いたします。また、SBクリエイティブにおける個人情報の利用目的については、下記プライバシーポリシーをご参照ください。
- ・お客様の個人情報は、提供先のプライバシーポリシー等の下で適切に取り扱われます。

提供先及びそのプライバシーポリシー等についてはこちらをご参照ください。

【提供先】

- 株式会社***（プライバシーポリシーリンク）、
- ***合同会社（プライバシーポリシーリンク）、
- ***株式会社（プライバシーポリシーリンク）

SBクリエイティブのプライバシーポリシー

<https://www.softbankcr.co.jp/ja/privacy/>

2. 本データ利用時の遵守事項

- ①LDC利用者は、本データを、本データの本人から同意を得た上記1. 記載の利用目的の範囲に限り利用できるものとします。それ以外の利用については、事前にSBCrの許諾を得るものとし、その利用は当該許諾に定めた条件に従うものとします。
- ②LDC利用者は、上記1. 記載の利用目的遂行のために本データの取扱いを委託する場合を除き、本データのいかなる部分も第三者に対して利用・閲覧させてはならないものとします。また、LDC利用者は、外国にある第三者に本データを提供する場合であって、外国にある第三者への提供を認める旨の本人の同意を得る必要があるときは、別途自ら本人の同意を得るか、上記1. 記載の同意取得の際にSBCrに対して当該対応に必要な情報を提供してSBCrを通じて本人から同意を得ていないければ、当該第三者に対して本データを提供することはできないことを確認します。
- ③LDC利用者は、トラブルやその他の事情により、SBCrがいつでもLDC利用者における本データの利用を制限できることを了承するものとします。
- ④LDC利用者は、本データの漏えい、滅失又はき損の防止その他の本データの安全管理のために必要かつ適切な安全管理措置を講じるものとします。LDC利用者の従業者に個人情報を取り扱わせるに当たっては、本データの安全管理が図られるよう、当該従業者に対する必要かつ適切な監督を行うものとします。
- ⑤LDC利用者は、本データ利用の際には、個人情報の保護に関する法律その他の適用法令及びそれらに関するガイドラインを遵守するものとします。

3. 特記事項

①LDC利用者は、本データを利用して、本データの本人へ情報提供をする際には、次の項目を明記するものとします。

(1)Webサイト「ビジネス+IT」上に掲載されたコンテンツ（「最初に公開したコンテンツURL」およびそれに関連する後日公開予定のコンテンツ）の閲覧に際し規約同意事項に同意した方に対し、LDC利用者の責任において情報提供をしていること、並びに情報提供の目的。

(2) LDC利用者の基本情報（社名/メールアドレスなどの連絡先）。

(3) 本人の求めにより情報提供の停止をすること、ならびに情報提供を希望しない場合の手続き方法。

②LDC利用者は、情報提供その他連絡を希望しない本データの本人に対しては、電子メールを含む如何なる方法によっても情報提供・連絡を行ってはならないものとし、また自己の保有する本データを消去し、一切の利用を停止するものとします。

③LDC利用者は、本データの利用に関して、LDC利用者もしくはSBCrに対し、本データの本人その他の第三者よりクレームの主張、損害賠償の請求等がなされた場合、又は本人その他の第三者との間において紛争等のトラブルが生じ、もしくは訴訟の提起がなされた場合は、LDC利用者の責任と費用負担にてこれを処理解決するものとし、SBCrに一切迷惑をかけないものとします。ただし、SBCrの責めに帰すべき事由に起因する場合はこの限りではありません。

④本規約に定めのない事項についてはSBCrの「ビジネス+ITリードダウンロードセンター利用規約」（以下「LDC利用規約」といいます）の定めによるものとします。また、本規約の定めとLDC利用規約の定めとが異なる場合は、本規約の定めが優先して適用されるものとします。

キャンセル規定、免責事項

発注書受領後、広告主様のご都合でキャンセルする場合は、下記料率のキャンセル料がかかります。

ジャンル	メニュー	キャンセル料率
BIT Media	バナー広告・テキスト広告	初回配信日5営業日前：50% それ以降 100%
	メルマガ広告（5行/15行）	
	全文メール広告	
	Click保証プラン	
	タイアップ記事広告	初校提出前まで：料金の50% 初校提出以降：料金の100%
BIT Lead	オンラインリード獲得プラン	初校提出前まで：料金の50% 初校提出以降：料金の100%
	オンライン特集	個別記事初校提出まで：50% 個別記事初校提出以降：100%
BIT Seminar	セミナー集客保証プラン	LP提出後：料金の50% 集客開始以降：料金の100%
	テーマ別セミナー/Webセミナー	・申込締切日前：料金の30% ・申込締切日～開催31日前：料金の60% ・開催30日前以降：料金の100%
	Vカンファレンス	
BIT Webinar	セミナー企画・運営サポート	企画費、運営費 ・開催日の41日前まで：料金の50% ・開催日の40日以内：料金の100% その他、実費の発生するものは外部委託先のキャンセルポリシーに則り、実費分を請求 ・会場費 ・弊社運営委託費 ・その他、ご提案をカスタマイズしたことにより発生する費用
	集客+配信プラン	
	討論会型Webセミナープラン	

ジャンル	メニュー	キャンセル料率
BIT Movie	リード獲得	初校提出前まで：料金の50% 初校提出以降：料金の100%
	ウェビナー・アーカイブス	
	ウェビナー・アーカイブス（BIT主催イベント）	
	ピッチ動画	
BIT Research	法人向けリサーチ	初校提出前まで：料金の50% 初校提出以降：料金の100%
	リード付きリサーチ	
	ターゲティングリサーチ	
	オフラインリサーチ（定性調査）	
BIT Campaign	キャンペーンリード獲得	LP提出後：料金の50% 集客開始以降：料金の100%
	導入検討マッチング	

2022年4月1日改訂
2020年6月9日制定

免責事項

弊社が主催するイベント（セミナー、Webセミナー、展示会）は、感染症の拡大などに代表される、来場者・登壇者等の安全確保が困難な場合、イベントの運営上やむを得ない場合などには、弊社の判断によりその全部または一部を中止することができるものとします。この場合、弊社は協賛社に対して、開催中止となった部分の割合（一部中止の場合）および開催残日数等を基準として、弊社が、合理的判断に基づき相当と認める額を協賛社に払い戻します（未入金の場合は、当該金額をご請求いたします）が、それ以外は一切の責任を負いません。

天変地異・停電・通信回線の事故等の不可抗力、政府、地方自治体等の公的機関による命令・イベント開催制限、通信事業者の不履行、インフラその他サーバー等のシステム不具合、緊急メンテナンスの発生など、弊社の責任に起因せず、広告掲載およびイベント開催が不能または継続困難となった場合、弊社の判断により広告掲載およびイベント開催を中止または中断することがあります。この場合、弊社は支払うべき経費を支払った後、残金があった場合には、お客様が既に支払った掲載料、協賛料に応じて残金をお客様に払い戻します（かかる時点で未入金の場合は、当該残金相当額をご請求いたします）。ただし、中止・中断によって生じた一切の損害について責任を負わないものとします。

お問い合わせ先

 SB Creative

ビジネス+IT

SBクリエイティブ株式会社
BIT事業部 営業チーム

03-5549-1126 (平日10:00~19:00)
b-kikaku@cr.softbank.co.jp
〒106-0032 東京都港区六本木2-4-5